



G7広島サミット

令和5年4月
外務省

G7広島サミット



G7広島サミット・ロゴ

G7を意味する7色の折り紙をモチーフに、Gの形のクリップで束ねている。世界平和に対する結束や一体感をイメージ。

開催日時

2023年5月19日(金曜日)から21日(日曜日)

参加者

G7メンバー

日、伊、加、仏、米、英、独(議長国順)の7か国首脳並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長。

招待国・国際機関

国: 豪州、ブラジル、コモロ(アフリカ連合(AU)議長国)、クック諸島(太平洋諸島フォーラム(PIF)議長国)、インド(G20議長国)、インドネシア(ASEAN議長国)、韓国、ベトナムの8か国の首脳

国際機関: 国連、国際エネルギー機関(IEA)、国際通貨基金(IMF)、経済協力開発機構(OECD)、世界銀行、世界保健機関(WHO)、世界貿易機関(WTO)の7機関の長



G7広島サミット

背景

今日国際社会は、コロナ禍に見舞われ、また、**国際秩序の根幹を揺るがすロシアによるウクライナ侵略**に直面し、**歴史的な転換点**にある。

2つの視点とG7日本議長国下における優先課題

2つの視点

1. 法の支配に基づく国際秩序の堅持

力による一方的な現状変更の試みやロシアが行っているような核兵器による威嚇、ましてや、その使用はあってはならないものとして断固として拒否し、**法の支配に基づく国際秩序を守り抜くとのG7の強い意志を力強く世界に示す。**

2. グローバル・サウスへの関与の強化

エネルギー・食料安全保障を含む世界経済や、気候変動、保健、開発といった地球規模の課題へのG7としての対応を主導し、こうした諸課題への**G7による積極的な貢献と協力の呼びかけを通じ、グローバル・サウスと呼ばれる国々への関与を強化する。**

日本のG7議長国下における優先課題

ウクライナ、核軍縮・不拡散、インド太平洋、経済的強靱性・経済安全保障、気候・エネルギー、食料、保健、開発、ジェンダー、デジタル

G7広島サミットの重要課題

➤ 地域情勢

・**ウクライナ**: G7はロシアによるウクライナ侵略を法の支配に基づく国際秩序への挑戦と捉え、これまで結束して対応。G7として引き続き対露制裁及びウクライナ支援を強力に推進していく。

・**インド太平洋**: 「自由で開かれたインド太平洋」に関するG7の連携を改めて確認・強化する。

➤ 核軍縮・不拡散

「厳しい安全保障環境」という「現実」を「核兵器のない世界」という「理想」に結びつけるため、G7として現実的かつ実践的な取組を進めていくとの力強いメッセージを発信すべく議論を深める。

➤ 経済的強靱性・経済安全保障

G7エルマウ・サミットの首脳コミュニケで初めて言及。**サプライチェーンの強じん化、非市場的政策及び慣行、経済的威圧への対応等の経済安全保障課題に取り組む。**

➤ 気候・エネルギー

ロシアによるウクライナ侵略によりエネルギー安全保障確保の重要性が再認識される中においても、**2050ネット・ゼロに向けた目標は不変**。主要排出国を巻き込みながら、各国・地域の事情に応じた**強靱なエネルギー移行**の道筋を示していく必要あり。

➤ 食料

現下の食料危機を踏まえ、全ての人々の廉価で安全な栄養のある食料へのアクセスと強靱な食料安全保障の確立が急務。そのため、**喫緊の食料問題に対処**しつつ、**世界の食料システムの構造的脆弱性を特定**し、その克服への道筋をつける。

➤ 保健

新型コロナの教訓を踏まえ、将来の健康危機に対する予防、備え及び対応を中心に、**グローバルヘルス・アーキテクチャーを構築・強化**する。また、より強靱、公平かつ持続可能な**ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ**達成に貢献するとともに、様々な健康課題に対応するための**ヘルス・イノベーションを促進**する。

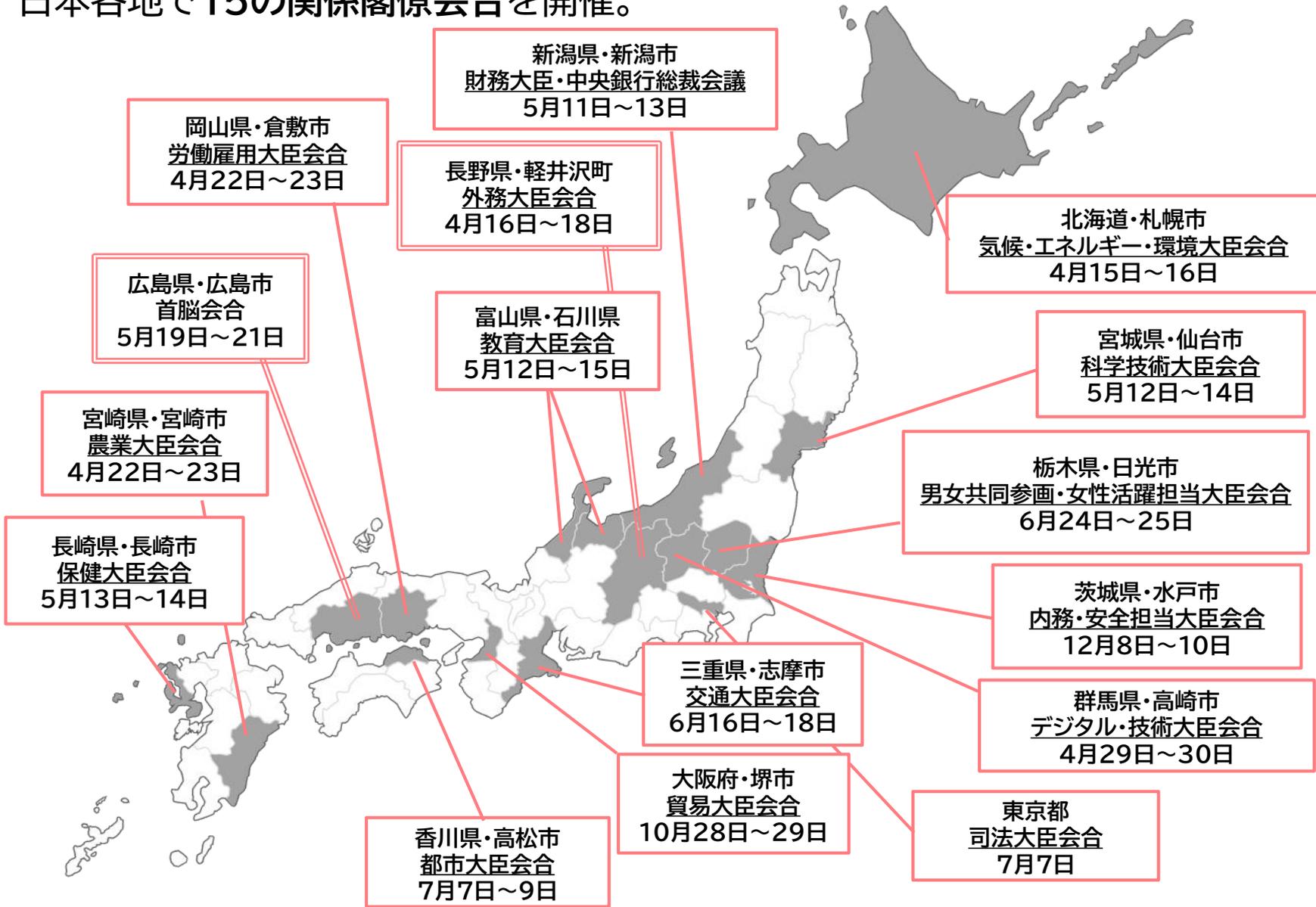
➤ 開発

2030アジェンダ及びSDGsの全ての目標の達成に向け、**人間の安全保障**の考え方を踏まえつつ、「**人**」に着目し、危機下の脆弱な人々への支援を念頭に議論を行う。また、**不透明・不公正な開発金融への対応**を議論する。

➤ ジェンダー、人権、デジタル、科学技術等の分野についても、引き続き取組を推進。

(参考)関係閣僚会合開催地

日本各地で15の関係閣僚会合を開催。



(参考)近年のG7サミットの議論の流れ

2021年:G7コーンウォール・サミット(英)

日程・場所:2021年6月11日(金曜日)~13日(日曜日)
全体テーマ:「より良い回復」



- 新型コロナウイルス感染症の世界的拡大以後、初めて対面で開催されたG7サミットであり、G7として協力して新型コロナに打ち勝ち、より良い回復を成し遂げ、国際協調と多国間主義に基づき、民主的で開かれた経済と社会を推進することで一致。
- 議長のジョンソン英国首相が掲げた「より良い回復」という全体テーマの下、G7の中心的議題である、世界経済・貿易や外交・安全保障について、G7首脳間で率直な議論が行われた。新型コロナ対応を含む国際保健、気候変動・生物多様性及び基本的価値に関する議論については、アウトリーチ国や国際機関からの参加も得て、議論が行われた。

2022年:G7エルマウ・サミット(独)

日程・場所:2022年6月26日(日曜日)~28日(火曜日)
全体テーマ:「公正な世界に向けた前進」



- ロシアによるウクライナ侵略に対し、G7が結束して国際社会の秩序を守り抜くことを確認。
- 岸田総理は、ロシアによるウクライナ侵略への対応や、物価対策を含む世界経済、インド太平洋などの地域情勢、気候変動といった課題について、2023年のG7日本議長年を見据え、日本として積極的にG7の議論を主導。